



担い手通信



JA bank Mie

Topic

今月の話題

大豆10%以上「とうふ」

豆腐業界初の定義

「品質」明確に安売りを防止

19年3月
認証めざす

豆 腐の定義作りに業界が乗り出しました。これまで定義が曖昧だったため、大豆の使用割合が多いこだわりの製品と、安値になりがちな汎用(はんよう)品とが、同じくくりで販売されてきました。品質に応じた製品表示で不当販売を防ぎ、製造業者や原材料の供給元となる農家が適正な利益を得られるようにします。

主原料とするたまご豆腐などは除外します。

加工状態や硬さに応じて「木綿」「ソフト木綿」「絹ごし」「充てん絹ごし」「寄せ(おぼろ)」と五つの中分類も設けます。「最高級」「天然」「純粹」など、根拠が定かでない表示を禁止し、添加物もさらに詳細な表示を義務付ける方針です。

豆腐を固形分の割合で定義し、表示するのは初めての試みです。乳脂肪分を基準に分類するアイスクリームなどを参考にしたといいます。「大豆や凝固剤をどのくらい使っているかが分かり、仕入れ側や消費者が製品を選べるようになる。汎用品や高級品のすみ分けも進む」と委員会に参加する豆腐メーカー・さとの雪食品の村尾誠常務は強

名称	大豆固形分	成分、加工
とうふ	10%以上	大豆、凝固剤、水だけを使用
調製とうふ	8%以上	副原料を用い、味、食感などを調製
加工とうふ	6%以上	調製とうふよりも加工度の高いもの

※豆腐公正競争規約設定委員会の資料を基に作成

豆腐業界の定義作りは、製品表示に関する規約策定

の中で進めています。主導するのは、豆腐事業者の全国団体でつくる豆腐公正競争規約設定委員会。「豆腐の定義や表示方法が不明確だったことが、不当販売の要因だった」と対応に動きました。

定義では、豆腐に含まれる大豆の割合「大豆固形分」を基準に、10%以上を「とうふ」、8%以上を「調製とうふ」、6%以上を「加工とうふ」と大まかに分類します。6%に満たないものや、卵を

数字でみえる
三重県の農と食

522キロ

県内の農と食に関する統計データを用い、農業の現状を数字から読み解きます。

水稲10ア-当たりの収量

東海農政局「東海3県の水稲(平成28年産)」によると、平成28年産の三重県の水稲10ア-当たりの収量は522キロ。平成27年産に比べ32キロ増加し過去最高となっています。木曾岬町・玉城町・伊勢市の3市町が同550キロを超え、東海3県の市町村の中で上位を独占しています。

調します。
豆腐公正競争規約設定委員会では、来年初めの消費者庁への認定申請に向け、事業者の説明を進めています。公正取引委員会での審査などを経て、2019年3月末の認定・告示を目指します。

このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介しています。

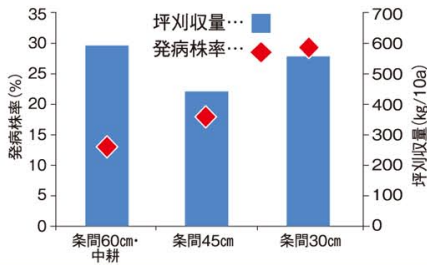
耕種的防除でナタネ菌核病を軽減 たん水処理中耕など組み合わせる効果

三重県農業研究所

は、耕種的防除を
活用したナタネ菌核病
の軽減技術を開発し
ました。作付け前の夏
季たん水処理、中耕な
どを組み合わせること
で安定多収が得られる
としています。

ナタネ菌核病の発生が
目立ってきており、安定
生産技術の確立が求め
られています。

立って播種(はしゆ)などの
排水対策の徹底と、
四つの技術を組み合わ
せることで、10ヶ当たり
350キ以上の坪刈収
量が得られ、発病株率
も低くなりました。



播種様式と菌核病の発病程度および収量

夏季たん水処理:
前作ナタネ収穫後1カ月程度
播種:10月12日、
小明渠作溝同時畝立播種
中耕処理:12月20日
品種:キザキノナタネ

お問い合わせ先 三重県農業研究所 伊賀農業研究室 ☎0595-37-0211

JA一志東部

カリフラワー今年度から出荷

松阪市のJA一志東部営農指導課は、農業者の所得増大と農業生産の拡大の実現に向け、2017年度から新規栽培作物のカリフラワーの出荷を始める。5月下旬に開いたJA秋冬野菜部会役員会で決めた。30アールから栽培をスタートし、5年以内に1畝を目標に掲げている。カリフラワーは、県内で出荷量がほとんどない。JAの重点栽培品目であるブロッコリーと栽培方法が似ており、販売単価はブロッコリーより高いため、組み合わせることで所得増大が見込める。(2017/6/6 ワイド2東海)

JA松阪

トウモロコシ時期到来 朝取りスタート

松阪市伊勢寺地区で6月上旬から、朝取りトウモロコシの出荷が始まった。管内では、5戸が11アールで栽培。品種は「味来14(ジュシー)」で甘味が強く、柔らかいのが特徴。春先の低温の影響で生育がやや遅れ、例年より3日ほど遅い出荷となった。6月中旬までに、7000本程度を見込む。新鮮うちに地元消費者に届けようと、9年前から朝取りに取り組む。最も甘味の強くなる夜明けまでに収穫し、袋詰めせず収穫したまま出荷している。(2017/6/9 ワイド2東海)

JA多気郡

1年で正組51人増 栽培グループ中心に声掛け

JA多気郡女性部は、部員の正組合員加入運動を進め、2016年度には部員の正組合員が前年度から51人増え167人となった。エゴマや学校給食野菜の栽培グループに、積極的に加入を呼び掛けたことが効果を挙げた。正組合員や女性総代が増えるよう今年度も運動を進める。(2017/6/7 JA)

【金利情報】平成29年6月19日現在

農業近代化資金

実質金利
年0%~0.30%
(固定金利)

※認定農業者の方は、市町や(公財)農林水産長期金融協会の利子補給等により、お借入ができます。

スーパーS資金

年1.5%
(変動金利)

農業資金 さらに使いやすくなりました!

三重県農業信用基金協会では本年5月から農業資金における保証料率の引き下げと無担保枠の拡大を行い、農業資金のお借り入れがさらにご利用いただきやすくなりました。詳しくは、最寄りのJA窓口にお尋ねください。

保証料率の引き下げ

各農業資金の保証料率を0.03%*引き下げました。
※ただし、農業経営資金は保証料率の特別対応を実施中ですので変更がありません。その他一部例外があります。

経営状況が優良な個人・法人の方はさらに0.1%引き下げ

優ランクとして保証料が優遇される基準点数を引き下げ、これまでより多くの方が対象になります。

無担保枠の拡大

無担保無保証人貸付限度額の拡大により、これまでの2倍になりました。

三重県農業信用基金協会